

〒283-8555 千葉県東金市求名1番地 Tel: 0475-55-8812 Fax: 0475-55-3265

URL: <https://library.jiu.ac.jp> Mail: [library@jiu.ac.jp](mailto:library@jiu.ac.jp)

## 好奇心の航海

語学教育センター Tim Woolstencroft

大学時代を振り返ってみると、教室ではなく図書館にいる自分の姿が目には浮かびます。30年以上経った今でも、大学の図書館と私がよく使っていた机が、鮮やかに目に浮かびます。図書館の光景、匂い、静かな音は、私にとってとても心地よく、刺激的なものでした。私にとって、家で映画を見るよりも映画館で映画を見る方が好きなのと同じように、図書館で勉強する方がずっと楽で充実しているように感じます。大学では、課題の締め切りに追われてストレスが溜まっていた時期もありましたが、同じようにアイデアを探している人や、レポートや論文を締め切りまでに完成させようと奮闘している人たちに囲まれていると、いつも心強いものがありました。

新しい街に行くと、私が最初にするものの一つは、地元の図書館や閲覧室を探すことです。言葉や文化が違う場所でも、慣れ親しんだ環境の中で人々に囲まれていると、いつも安心しますし、すぐに自分のうちにいるような気持ちになります。ニューヨークに住んで初めての冬、私は寒さから逃れるために、美しいニューヨーク公立図書館で多くの時間を過ごしました。数え切れないほどの映画やテレビドラマで図書館が取り上げられていますが、図書館は新しい知識や冒険への入り口として、効果的に描かれています。私自身、新しい国や都市での冒険の最初の段階では、「ハリー・ポッター」シリーズに出てくるハーマイオニー・グレンジャーの「困ったときは図書館に行け」という哲学に従うようにしているわけです。

この新しいデジタル情報化時代に、まだ図書館の場所があるのは心強いことです。インターネットは素晴らしい情報源ですが、図書館が提供できる物理的な空間や施設に勝るものはありません。図書館のカードは本当に強力なものであり、私たちの想像力の扉を開く「鍵」となることができます。テレビドラマ「ストレンジャー・シングス」では、主人公の一人が図書館の司書に、なぜ自分は「貸し出し制限5冊以上」の本が必要なのかを説明しているシーンがあります。彼はこう言うのです。「僕は素晴らしい旅の途中なんだ。そして、僕には旅するためのパドルが必要だ。そう、これらの本は...これらの本は私のパドルなんだ。」さあ、我々も、図書館に行き、旅のパドルを手に入れて、好奇心の旅に出ようではないですか。



New York Public Library